

大野町では全小中学校がコミュニティスクールとして 地域とともにある学校づくりを進めています

「コミュニティスクール」とは、学校と保護者、地域の皆さんがともに知恵を出し合い、三者が協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

大野町では全小中学校をコミュニティスクールに指定し、「学校運営協議会」の皆さんが「学校の課題」や「目指す子どもの姿」を共通理解し、学校と地域が一体となった学校づくりを進めています。

現在、大野町ではコミュニティスクールとして、次のような活動が進められています。

1. 地域の教育力を活かした学校教育の充実

- 地域人材を活用した学習支援（地域の歴史・偉人の学習、柿作り・米作りの支援、読み聞かせなど）
- 豊かな心の育成・キャリア教育の推進（職業講話、職場体験学習など）
- クラブ・部活動の指導（講師、社会人コーチなど）
- 学校の環境整備（校庭の草刈り、校内修繕など）
- 安心・安全教育への支援（交通安全指導、防犯・防災指導など）
- 学校行事への支援（体験活動講師・ふれあい活動講師など）



2. 地域における活動の充実

- 子どもや大人がみんなで集える活動（区民運動会、青少年育成行事など）
- ふれあいセンターの活動（ふれあいセンターまつり、子ども教室など）



3. 地域・家庭・学校による活動の充実

- 地域行事への積極的参加や地域貢献の促進（子ども会活動、奉仕活動など）
- 地域と学校が一体となって取り組む活動（あいさつ運動、資源回収など）

コミュニティスクールを核とした「地域学校協働活動」の充実を願って

「地域学校協働活動」とは、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

大野町では、地域学校協働活動の本部を令和7年度に開設した各地区ふれあいセンターに置き、センター運営に関わる地域の皆さん、各種団体、企業などと連携して活動を進める体制を整えてきました。

現在、学校とふれあいセンターのつなぎ役である「地域学校協働活動推進員」をふれあいセンター主事が担当し、地域と学校の連携を進めています。

学校が求めていることや、地域の子どもをどのように育てたいかを共通理解し、地域学校協働活動のさらなる充実が期待されます。

大野町の地域学校協働活動のイメージ

